

どんぐり村の こみ・すく通信

令和5年9月11日発行 令和5年度 **第12号** 更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

第2回学校運営協議会後、合同研修会「子どもの自己肯定感を高めるために」

8月30日、村内各小中学校の学校運営協議会を開催し、その後CS委員会との合同研修会で講演を聴き、各グループで子どもの自己肯定感を高めるためにどう関わっていったらよいかを学びました。



各学校運営協議会では

更別小学校学校運営協議会

「制限緩和により、学習発表会は多くの地域の方々にも参加いただく機会としたい」と学校から。

上更別小学校学校運営協議会

登下校スクールバスの運行時間の不便さが話題に上がる。

更別中央中学校学校運営協議会

2学期の教育活動で「文化祭は昨年度と大きく変わるか」という質問に「今年も午前だけのプログラム」と回答。

CS委員会と学校運営協議会の合同研修会

山田 康介氏(診療所長、さらべつほーぷ代表)の講演から

教頭先生、さらべつほーぷの協力をいただきながらグループワーク



更別村CSアクションプランの中の「自分を大切にできる子ども」「失敗から学べる子ども」の具現化を目指すためには、まず子どもたちの自己肯定感を高めることが大事ということで、取り組みました。

【参加者の感想等から(一部)】

- ・聞く！を今まで以上に意識しようと思います。他の保護者さんにも聞いてもらいたい内容でした。
- ・我が身を振り返ると反省ばかり。あーすればよかった、こーすればよかった。まだ間に合うか？
- ・グループの皆さんと共感できる話し合いができてよかったなと思います。
- ・否定から入らない。まず話を聞いて子どもの気持ちを受け入れる努力をする。
- ・今後と次につながるヒントをたくさんいただきました。

山田先生から「自己肯定感とは何か」「自己肯定感が低い子に現れる場面での様子や言動」「自己肯定感はどのように形成されるか」「今から何ができるか」等についてお話をいただきました。

自己肯定感は乳児期に形成される基本的信頼(人を信頼するという感覚)を基礎として、積み上げていくように形成されていくもの。幼児期、小学校・中学校の時期にそれぞれのステップを踏んで育んでいくものであると説明いただきました。

では、大きくなってしまった子どもに対して、今から何ができるか。キーワードとして次の2つを挙げていました。

- ①信じて受け入れること。
- ②待つこと、見守ること。

その後、グループで「こんな事例の時、どう話していくか」について相談し、教頭先生やさらべつほーぷの皆さんにもお手伝いいただき、ロールプレイ(役割演技)をしました。



【自分なら、どう声かけするか】



【グループで交流・ロールプレイ】